

event news

2014年5月イベントのお知らせ

- 「完成見学会 (佐伯区観音台・中区舟入川口町)」
- 「構造見学会 (安佐北区亀山)」
- 「初めての家づくり教室 (ハツイエセミナー)」
- 「あぐりくらぶ (田植え)」
- 「キンカン工作室ミニチュア制作」

の5つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	1	2	3	4
ゴールデンウィークも休まず営業いたします						
5	6	7	8	9	10	11
					定期点検	完成見学会 (中区舟入川口町)
12	13	14	15	16	17	18
					完成見学会 (佐伯区観音台)	完成見学会 (佐伯区観音台) あぐりくらぶ (田植え)
19	20	21	22	23	24	25
						構造見学会 (安佐北区亀山) ハツイエセミナー
26	27	28	29	30	31	
		キンカン工作室 ミニチュア制作				

『広島県産材の家 完成見学会』

- 開催日：5月11日(日)
- 開催時間：午前10時～午後4時
- 場所：中区舟入川口町
- 事前にご予約をお願い致します。

街中に建つM様邸は、日当たり、窓を開けての採涼など難しくなります。可能な限り冬場の日射、夏の通風を取り入れたパッシブデザインに加え、快適設備“光冷暖”の搭載を計画しました。また広島県産材をご採用頂き「平成25年度地域型住宅ブランド化事業」(広島県工務店協会)の対象となっています。もちろんエヌテック標準の

- ☆耐震等級3
- ☆省エネ等級4
- ☆認定長期優良住宅



『ゼロエネで快適な家 完成見学会』

- 開催日：5月17日(土)・18日(日)
- 開催時間：午前10時～午後4時
- 場所：佐伯区観音台
- 事前にご予約をお願い致します。

「ZEH+デシカホームエア(ダイキン)搭載」K様邸は、広島県の住宅でデシカ搭載第一号です。SE構法による高性能躯体とパッシブデザインの設計手法により、冬の日射取得を最大限に取り入れ、室内に発生した熱の損失を減らし、真夏の日射取得は減らし、発生させた冷気は逃がさないよう外構も含めトータルで計画しています。

- ☆SE構法で自然災害に対する安心を。
- ☆PV+太陽熱温水器でゼロエネに。
- ☆デシカの調湿による室内の快適性。



『SE構法 構造見学会』

- 開催日：5月25日(日)
- 開催時間：午前10時～午後3時
- 場所：安佐北区亀山
- 事前にご予約をお願い致します。

“安心の家は、確かな構造が作る”耐震工法=SE構法をご確認頂きます。地震・災害から家族を守る「構造」です。



『初めての家づくり教室』

- 開催日：5月25日(日)
- 開催時間：午後2時～午後4時
- 場所：Gallery 様 (エヌテック事務所隣)
- 事前にご予約をお願い致します。

「間取りや夢の実現の前に知っておくべきこと」家は、家族の想い出を積み重ねて行く人生の基盤となるものです。

- ☆安心、快適な家にするためには、
- ☆自然災害の多い日本でどういう家にするべきか？
- ☆ますます高騰するエネルギー事情にどう備えるか？
- ☆本当の快適は数値を求めることから。

☆平成26年度補助金情報などなど。

家づくりを始める前にはぜひご参加を！



超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.15 MAY. 2014

株式会社エヌテック

〒733-0007

広島市西区大宮 2-13-7

TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772

E-mail:info@ntecj.co.jp

HP:http://www.ntecj.co.jp



超・快適への道「ここが違うんです」②

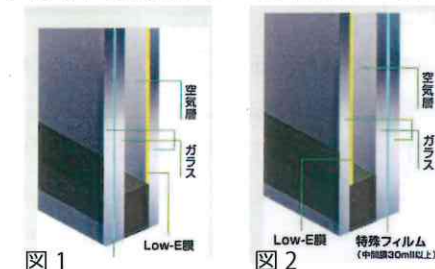
「ここが違うんです、その2」

早いもので、桜の季節も過ぎ新緑が美しい季節になろうとしています。いわゆる「中間期」(初夏・初秋など冷暖房をさほど必要としない低気温的湿度の時期)を迎えつつあります。一年で最も自然の中が心地よいシーズンです。一日を通して室内と外の温度差が少なく設備機器類に頼らず過ごすことが出来るため省エネのチャンス到来！でもありますね。内外温度差が大きい真夏と真冬が家(建築)にとって最も厳しい時ですが、その時こそ「ささいな配慮」が力を発揮する時です。

前回、小さなことで大きな違いに触れましたが、ペアガラスに「Low-e」(ローイーと

読みます)という記載があるのを目にされたことがあると思います。Low Emissivity=「低放射」という意味でガラスの表面に金属の膜をコーティングして作られます。一般的な1枚ガラスが放射率0.85程度に対し、Low-e ガラスは放射率が約0.1以下で、数値が低いほど赤外線を反射させ熱を通さないため断熱性が高いガラスとなります。断熱性を高めたい家の窓にLow-e は必須と言えるでしょう。ここからがちょっとややこしいのですが、このLow-e ガラスをペアガラスのどこに配置するかで効果が違うのはご存知でしょうか？ペアガラスの室外側ガラスの内面に金属膜をコーティングすると外の熱が室内に伝わりにくくなる(=遮熱

「図1」)。一方、ペアガラスの室内側ガラスの外側にLow-e とすると、室内の熱が外に奪われることを防ぎやすくなる(=断熱「図2」)。つまり、日当たりのよい南側の窓は断熱仕様にし、夕日の暑さが厳しい西側の窓は遮熱仕様にするといった「窓Low-e ガラス」の使い分け)をすることで、パッシブデザインの効果を高め快適性と省エネに寄与する窓とすることが出来るのです。



【イベントへのご参加方法】

事前のご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。

- ・弊社ホームページのフォーム (URL <http://www.ntecj.co.jp/>)
- ・エヌテック代表メール (info@ntecj.co.jp)
- ・エヌテックへのお電話 (082-509-5771) 担当：佛崎(ぶつぎき)・松下まで

『キンカンの工作室ミニチュア制作』5月はミニチュアガーデン制作です！

「キンカンの工作室」こと、「萩谷幹」先生によるミニチュア制作教室。ここ数回は満員御礼。特別に追加日まで作っていただく状況です。前回の「快適通信」もしくはエヌテックのHPにて今年12月までのスケジュールを掲載していますので、参加したい方はお早目にエヌテックまでご連絡ください。

前回の教室はお子様向けの「行楽弁当」。集中しているお子様、ちょっと脱線して遊んでいるお子様、思い思いに楽しんでいましたが、最後にはみんなステキなお弁当を完成させていました。次回はミニチュアガーデンで

す。多くのご参加をお待ちしています!!

キンカンの工作室ミニチュア制作教室

第13回：5月28日(水)午前10時～12時

料金：2,500円/1名(材料費・講習料込)

制作品：ミニチュアガーデン

場所：Gallery「様」(エヌテック事務所横)

※先着8名様限定です。

※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。

※制作した作品はお持ち帰りできます。



平成26年度の補助金・減税・優遇制度のお知らせ

新年度に入り、続々と補助金等の情報が更新されています。今回は補助金制度について簡単にご紹介いたします。どの補助金も当然ですが、認定基準や申請期間(施工期間)が定められています。そのため、皆様に当てはまるものではありません。エヌテックでは、「初めての家づくり教室」や「資金相談会(個別)」で詳しくご説明いたします。

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業	住宅のゼロ・エネルギー化推進事業	地域型住宅ブランド化事業	木材利用ポイント
補助率： 補助対象費用の1/2以内 ※補助限度額350万円 補助対象：新築・リフォーム 高断熱性能、高性能設備機器と制御機構等との組み合わせによるゼロエネシステムの導入により、年間の一次エネルギー消費量がネットゼロとなる新築及び既築の住宅。	補助率： 補助対象費用の1/2以内 ※補助限度額165万円 補助対象：新築・リフォーム 住宅の躯体・設備の省エネ性能の向上、再生可能エネルギーの活用等により、年間の一次エネルギー消費量がネットゼロになる新築及び既築の住宅。	補助率： 建設工事費の1割以内 ※補助限度額100万円 補助対象：新築 地域材を活用した木造の長期優良住宅の供給に取り組んでいる住宅。 ※採択された事業者の構成グループにより補助対象ルールが具体的に決定します。	補助率： 補助限度30万ポイント ※商品交換や木材を利用した工事に充当 補助対象：新築・リフォーム ・木造住宅の新築・増築・購入 ・床・壁・天井の木質化工事(内装・外装木質化)など ※H26年9月末までに着工の工事が対象となります。

My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『現場の進捗状況』

土井長 元気

工務部の土井長です。佐伯区観音台のK様邸の進捗状況です。外壁全体はそとん壁で仕上げ、玄関部分のみ杉板を貼っています。外壁工事が終了し、内装工事、家具工事～器具付け、そしてお引渡しへとラストパートです。



牛田本町ではW様邸の工事着工へ向けて地盤改良工事が完了しました。



大きな円がポツポツとありますが、これは柱状改良杭というものです。地盤調査の結果4mほど自沈層が確認できたためにこのような杭を打って建物を支えます。W様邸は8月末の完成を目指してこれから工事を行います。光冷暖も搭載する予定です。

廿日市ではM様邸の構造見学会を開催致しました。M様のご協力、誠にありがとうございました。M様邸では、外部では屋根の板金工事、内部ではサッシの取付工事が行われています。



M様邸の外観のポイントとなる平屋の大きな屋根は、平葺きで仕上げられています。

内観では、SE構法により実現した1階の大きな窓がポイントになっています。

『杢材(杉)』

佛崎 浩平

お客様サポートの佛崎です。

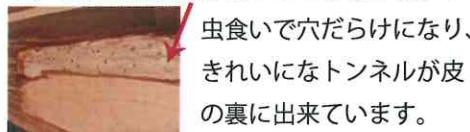


家の中には、何気なく、当たり前になっている木杢たち。建具が稼働するために必要な、『敷居』や『鴨居』床と壁、壁と天井の見切りにある、『巾木』や『廻縁』大工さんが間仕切りや造作の工事を行うのに、大変重要な化粧杢材です。エヌテックでは、杉材を主に使用し、お住まいの空間をたくさんの協力業者と造っていきます。今回は杢材の紹介です。

先日、ある新築現場の加工材を受け取りに行きました。工場の前では、製材してきた原木の皮剥かしを行っていました。工場では、水圧で皮を剥いだりするのですがこちらでは全て手作業。まさに『剥がして帰らなさい』と言わんばかりのタイミング。1本だけお手伝いをさせて頂きました。



この作業は、乾燥させる前に必要で、皮を残したままだと虫が湧いてしまうのです。だから、皮の剥がし忘れは大変な事なんです。原木の皮を剥がないとこうなります！



虫食いで穴だらけになり、きれいなトンネルが皮の裏に出来ています。自然素材の品質管理は、長い期間をかけて行うため大変な業務です。住まわれてからも日頃のお手入れで防ぐことも大切です！木材を使う以上、とても貴重な経験でした。この木材が使われるのは1年後ですかね…。

『設計のこだわり』

谷口 護

設計担当の谷口です。新築工事が進んでいくと現場でお施主様と何回か打合せを行います。上棟も終わり構造躯体が見える状態では、窓の位置・高さ・大きさの確認、スイッチやコンセントの位置の確認、間取りの確認などを現地にて行います。実際に目に見える空間になってから気づいたり実感したりする事もあるので、とても重要な打合せの一つです。毎日触って使うところですから、現場で確認しつつ決めていきます。毎日使うところは丁寧に…がエヌテックのこだわりです。

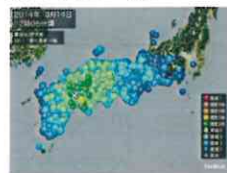


この打ち合わせが終わると順次サッシの取付工事が行われます。

「快適」には窓からの熱損失と流入を防ぐことが重要なポイントです。これには窓の性能が大きく影響します。最近ではシャノン製の樹脂サッシを多く採用しています。カタログ値で、熱損失係数 1.5W / m² K の断熱性能。複層ガラスの間のスペーサーを樹脂にすることで結露発生を抑制した高性能な窓です。



そして耐震性について。3月には広島でも震度4～5弱の強い地震が夜中に発生しました。ところが、SE構法にお住まいのとあるお客様から、「昨日は



と、昨日はSE構法にお住まいのとあるお客様から、「昨日はすごく揺れたね」という翌日の周囲の話題に違和感を感じる程、建物の揺れが少なかったという嬉しいご報告もいただきました。南海トラフの地震がいつ起きるかわからない今日、SE構法の需要はますます高まるばかりだと思えます。

もちろんSE構法だけが地震に耐える強い構法だとは思いません。要は、地震に耐える設計をきちんと行っているかです。そのひとつの指標として、「耐震等級」があります。耐震等級は低い方から1、2、3までランク付けがあり、長期優良住宅は2以上が必須。エヌテックでは必ず耐震等級は3を確保する事を一つの設計ルール=こだわりとして掲げています。まずは、構造が第一。建物が倒壊して人命を殺めることがないように、構造計算をきちんと行っただけのお住まいをこれからもご提供し続けます。

『ゼロエネルギー事業』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。まずはあぐりくらぶご応募への御礼です。



前回は案内を同封いたしましたが、多くの新規ご参加の応募があり、満員御礼で募集を終了いたしました。ありがとうございました！



5月18日(日)に開催。にぎやかなイベントとなりそうです。あとはお天気になることを祈るのみです！！

平成26年度の「住宅のゼロエネルギー化推進事業」、「ネットゼロエネルギーハウス支援事業」の説明に行ってきました。

まずは午前中の「住宅のゼロエネルギー化推進事業」。中小工務店を対象とした補助金ということもあり、例年通り会場は満席状態でした。



内容は昨年とはそこまで変わってはいませんが、一次エネルギーの計算が事業主基準と平成25年省エネ基準の二種類を選ぶようです。平成25年省エネ基準の算定プログラムを使用したことのない方が大勢いたのも少し驚きました。事業主基準を使えるのもそのためでしょう。

そして午後からは「ネットゼロエネルギーハウス支援事業」。

こちらは午前中とは違い人が一気に減りました。「住宅のゼロエネルギー化推進事業」と同様に、一次エネルギーの計算は事業主基準と平成25年省エネ基準の二種類から。

新築・改修の基準は統合され、補助費用の算出方法なども昨年とは変わっていました。

事業期間の厳しさもあるので、これから精査していきます。今年度で三回目となりますが、説明会の参加人数を見ると年々注目度は上がってきていると思います。これからエヌテックもこの事業に参加するかどうかで提案の検討をしていきたいと思っています。

さまざまな事業への取り組みは、申請時に多くの書類提出や審査を受けるため、なかなか大変な作業となります。しかし国の方向性を知ることができ、対象となる高性能な建材やエネルギー消費についても勉強となることがたくさんあります。そしてその成果が皆さんに還元できるように努力します！

今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



「WASARA」紙の器、竹のカトラリー

お花見のシーズンは過ぎてしまいましたが、5月に入ると外へのお出掛けがますます楽しい季節です。心地よい風に吹かれつつ青空、生い茂る若葉の下での手作りのお弁当持参のピクニックやバーベキューは格別です。やっぱり自然の中だとウキウキします。家族や仲間と食事を分ける際に紙皿や紙コップをご利用の方も多いかと思いますが、機能性に優



丸皿(中)で、540円(税込)/6枚入り「WASARA」HP(メインサイト)⇒<http://www.wasara.jp/> オンラインショップ⇒<http://wasara.shop-pro.jp/> です。

れたものはあってもオシャレでステキ！と欲しくなるものってなかなかないですよね。今回ご紹介するのは「WASARA(わさら)」の紙で出来た食器たちと竹製のカトラリーです。緩やかに波打つカーブが美しいお皿、シンプルで洗練されたデザインのスプーンやフォーク。紙と竹で出来ているので軽くお子様から年配の方まで幅広くストレスなく使えます。また出来るだけ荷物は減らして帰りたいもの。これらは燃えるごみとして廃棄出来るもの嬉しいですね。お出かけ先でもこんな素敵な食器を取り分けて頂くとお料理もより美味しくなります。オンラインショップではムーミンとのコラボ商品もあり、家庭用に少量の購入も、業務用としてまとめ買いも可能。エヌテックも上棟用に購入を検討中です！



快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「鉄筋コンクリート造の基礎について①」

エヌテックでは現在、構造体の強さを示す耐震等級が3の住宅しか建てません。想定外の地震や台風、最近では竜巻などの自然災害においても安心して住まうためには必須な事だと考えています。私が何故これほどまでに構造にこだわるのか？今回は家の土台となる基礎のお話です。最近の木造住宅の基礎はほとんど鉄筋コンクリート造で作られます。聞くところによると住宅会社さん工務店さん自身も基礎のコンクリート強度がどのくらいの強さで施工しているのかご存知ない会社さんもあるようです。まず鉄筋の組み方ですが、素人の方が見て

も現場によってレベルに差があることがわかります。

そもそも鉄筋コンクリート造というのは、「コンクリート」という圧縮には強いが引張りに弱いという中に、引張りに強いが錆に弱いという「鉄筋」を埋め込むことによって相互の弱点を補完しあう構造です。(コンクリートは強アルカリ性です)ということは鉄筋の組み方が悪いと、鉄筋が所定の耐力を発揮できない恐れがあります。

またコンクリートの成分ですが、セメント、砂、砂利、水に添加剤等を加えて造りますが、季節による温度補正や、セメントの種類、塩分を含まない骨材、最も重要な水セメント比・・・等、ありとあらゆることを考慮の上配合されます。そのコンクリート出荷工場から所定の健全なコンクリートが現場で完成するように配合計画書を作ります。

工場にて配合されるのであまり心配はないと思われそうですが、はたしてどうでしょうか？無知な基礎業者さんになると施工が楽になるという理由で、現場で勝手に水を継ぎ足すということがあるんです。

次回につづきます。